

用途

- ①スクイズ工法におけるスクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け
- ②スクイズ工法におけるひび割れ部のシール

特長

- ①スクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け、ひび割れ部のシールの両方に使用できます。
- ②無溶剤ですので、VOCの問題はありません。
- ③剥離性に優れています。
- ④従来のゴム系パッチング材に比べ硬化性に優れています。

性状

項目	性状	備考
組成	変成シリコン樹脂系シール材	
外観	灰色ペースト状	目視
密度	1.31～1.41g/cm ³	23℃、比重カップ法
深部硬化性	4.0mm以上	23℃、50%RH、48時間後

注入開始可能時間の目安

環境条件	温度 (°C)		5～10	20～30
	湿度 (%RH)		40±5	50±5
注入開始可能時間	下地	モルタル	24時間以上	10時間以上
		タイル	48時間以上	15時間以上

使用方法

- ①スクイズプレート(D52S、DG、B2)の取り付け部、ひび割れ部の油、埃、錆などを取り除き、十分に乾燥させます。
- ②多孔ノズルをスクイズシーラーⅢの先端に取り付け、カートリッジガンを用いて、スクイズプレートの取り付け位置に適量押し出します。
- ③スクイズプレートを圧着した後、プレートからはみ出たスクイズシーラーⅢは、ヘラで廻りを押さえてプレートのツバにかぶせます。
- ④プレート間のひび割れは、スクイズシーラーⅢで完璧にシールします。
■シール幅：20～30mm、シール厚：2～3mm
- ⑤スクイズシーラーⅢが硬化するまで養生します(注入開始可能時間の目安参照)。
- ⑥スクイズシーラーⅢが硬化後、注入材を充填します。
- ⑦注入材が硬化後にスクイズプレートを除去し、スクイズシーラーⅢの端部を皮スキなどで剥がした後、手で徐々にスクイズシーラーⅢを剥がし取ります。

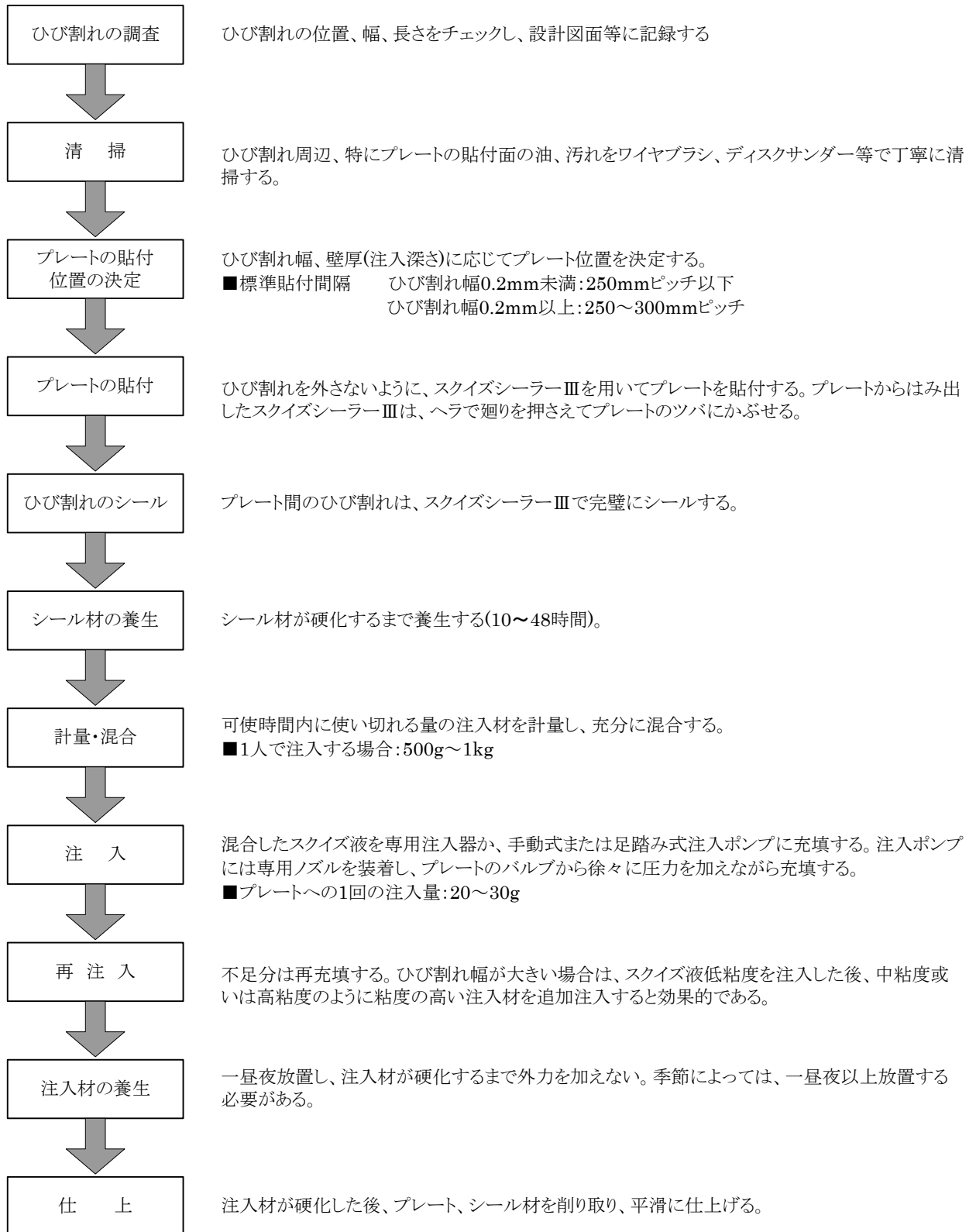
注意事項

- ①使い残りは密閉して、なるべく早くお使い下さい。
- ②保存はなるべく冷暗所で行い、ぬらさないようにして下さい。
- ③火気に十分注意して下さい。
- ④直接皮膚に触れないよう注意し、皮膚についたときはウエスで拭き取った後、石鹸でよく洗い落として下さい。
- ⑤一部の塗材やタイルの場合、はくりしにくいことがありますので、予めはくり性をご確認の上、ご使用下さい。
- ⑥詳細な内容が必要な場合には、安全シート(SDS)をご参照下さい。

梱包仕様

20本/箱 (333ml/本)

スクイズ工法の標準施工要領



警 告

※健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。
※使用にあたっては、安全データシート(SDS)をお読み下さい。